

## 令和4年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

<b>団体名</b> 北九州市	<b>団体区分</b> (混成の場合は複数☑) <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
<b>取組名</b> 魅せて、伝えた“北九州市の街を守る底力” 雨水貯留管 ～「PR動画公開」と「管内での出前授業」～	
<b>責任者</b> (実際に広報に取り組んだチームの代表者)  氏 名 : 住吉 薫 所 属 : 北九州市上下水道局下水道部下水道整備課 電 話 : 093-582-2482 E-mail : kaoru_sumiyoshi01@city.kitakyushu.lg.jp	
<b>担当チームの構成</b> (外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい) <input type="checkbox"/> 北九州市上下水道局職員 (下水道部4名) <input type="checkbox"/> 委託業者 (動画制作)	
<b>取組のポイント</b> (一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい) <input type="checkbox"/> 供用開始後は入れなくなる、建設中の雨水貯留管(φ3m、L=1.5km)を最大限活用して、「PR動画公開」や「管内での出前授業」等の広報活動を展開 <input type="checkbox"/> 子どもや若年層をメインターゲットにして実施 <input type="checkbox"/> 梅雨や台風等の時期をタイムリーに捉えて広報 <input type="checkbox"/> 様々な媒体 (YouTube・LINE等のSNS、小倉駅大型ビジョンでの放映、TV番組等)を通じて情報を拡散	
<b>アピールポイント</b> <b>【PR動画】</b> <input type="checkbox"/> 2022年スケートボード強化指定選手(宮崎県在住の中学2年生)が雨水貯留管内を滑走し、クールでスピード感のある動画を制作 <input type="checkbox"/> 人気バイク系 YouTuber を起用し、雨水貯留管の役割をバイクの追走劇に見立てた動画を制作 <input type="checkbox"/> 地元大学のサークルとコラボし、意見交換やエキストラ出演を通して若者の感性を動画に反映 <input type="checkbox"/> 雨水貯留管の仕組みやVR映像、災害への備えを紹介する動画も併せて公開 (計5本) <b>【出前授業】</b> <input type="checkbox"/> 雨水貯留管内にスクリーンやイスを持ち込んで教室に見立て、小学生が実施の規模を体感 <input type="checkbox"/> 雨水貯留管内で授業を受けるという特別な体験を通して、学習した内容の記憶への定着を促進	
<b>要したコスト</b> 豪雨対策事業PR動画の制作 : 234万円 (動画制作の委託費)	



**取組の概要**（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

## 主旨

北九州市では、激甚化・頻発化する豪雨への対策として、雨水貯留管や雨水管の整備などを積極的に進めている。中でも、現在建設中の「昭和町雨水貯留管」は、豪雨対策の主要事業であるが、供用開始後は市民の目に触れることがなくなる。そこで、建設中のこのタイミングを逸することなく雨水貯留管を活用した広報活動を展開し、市民、特に子どもや若年層に豪雨対策に対する理解と関心を深めてもらうもの。

### 1. 雨水貯留管のPR動画公開

9月10日の「下水道の日」にあわせて公開

#### ① 「下水道管をスケートボードで走ってみた」

東京オリンピックで盛り上がりを見せた、若者に人気のあるスケートボードに着目し、雨水貯留管内をスケートボード強化指定選手が滑走することで、斬新性や意外性を醸成して、話題性に富む動画にした。



#### ② 「大雨を謎の地下トンネルに追い詰める！」

市民に迷惑な大雨を“悪者”、雨水貯留管を“ヒーロー”に例えて、ヒーローが悪者を追走して捕まえるストーリーとすることで、雨水貯留管の役割（大雨を管内に閉じ込めて街を守る）をコメディタッチで表現した。



#### ③ その他（「大雨から街を守る」「360度VR映像で体感」「大雨への備え」）

雨水貯留管の構造や仕組みを模式図やVR映像等で解説する動画や、防災・減災に向けた自助活動を紹介する動画を制作して、市民啓発を進めた。

### 2. 雨水貯留管内での出前授業

社会科で下水道を学習する小学4年生を対象に、梅雨時期に開催

#### ①現場見学

深さ15mの立坑を降りて、管内を200m歩いて見学。



#### ②授業（講師：市の若手職員）

自宅のできる水のうの作り方や避難方法等を学習。



#### ③雨水貯留管内面への描画

子どもたちの将来の夢や希望等を自由に表現。



**成果**（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

#### 1. PR動画の再生回数等（令和4年12月8日時点）

- ・YouTube（動画5本）：計20,475回（高評価1,064件）
- ・北九州市公式SNS（LINEVROOM、Twitter、Facebook）：計7,345回
- ・報道：テレビ2社、新聞4社

#### 2. 雨水貯留管内での出前授業

- ・参加者数：工事現場近隣の小学校の4年生：計50名
- ・報道：テレビ5社、新聞2社
- ・実施後のインタビュー

「雨水が来ないように、ちゃんと言われたこと（土のうや水のうの準備等）を頑張ってやろうと思った」

「浸水にならないように貯留管を造っていることがわかった」

「トンネルの中はちょっと怖かったけど、色んなことを学べて楽しかった」等